



希望の虹

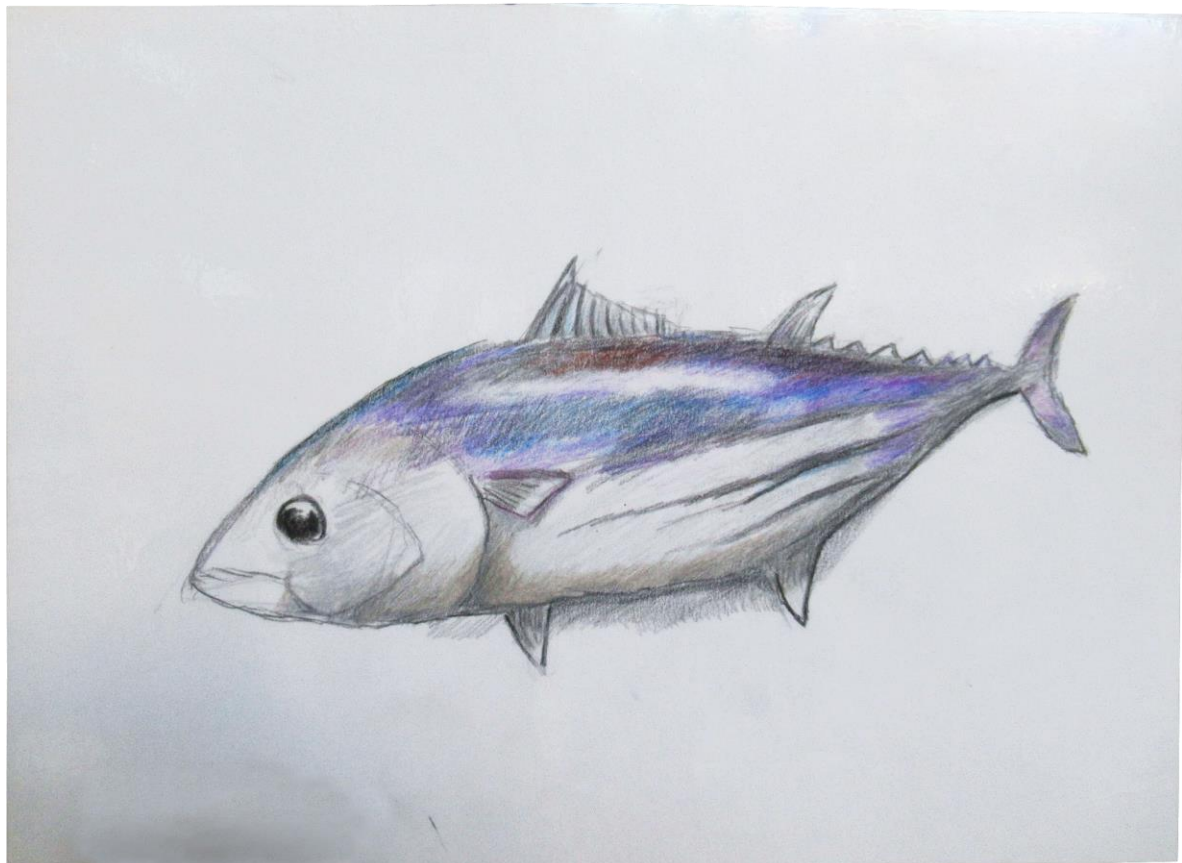
石川有利

説明

縦25センチ、横35センチの画用紙に大きな虹が描かれています。大きな虹は七色で、上から赤、オレンジ、黄色、黄緑、緑、水色、紫の順になっています。それぞれの虹のラインは1センチ四方の折り紙がとても細かく重ねて貼られており、虹の向こうには画用紙の青が青空となって、そこに白いクレヨンでふんわりと白い雲がふたつ、描かれています。のびやかでダイナミックな虹からは元気やパワーが感じられます。

感想

息子がこれからすくすくと希望にあふれて育ってほしいという願いをこめて作りました。



カツオ

武藤

説明

カツオは、温暖な海域に生息しており、頭と尾が細く、腹の部分が丸く太い独特の体で海の表層近くを猛スピード（敵から逃げる時は時速100km）で遊泳しています。色鉛筆でリアルに描かれたこの作品のカツオもピカピカ輝き活きがよく、今にも画用紙から飛び出しそうです。カツオの食べ方は、刺身、焼く、煮る、揚げる等様々ですが、魚市場の仲卸を生業としていた作者のお勧めは、ニンニク、ごま油、塩で食べる刺身だそうです。

感想

魚市場の仲卸人の仕事をしていた中で、カツオが一番目利きの難しい魚ということから、この魚を絵にしました。



私の一輪挿し

すいかちゃん

説明

籐細工の一輪挿しです。土台は寄木で作成しており、大きさは縦横5cm・高さ15cm程度の小ぶりで可愛らしい印象の作品です。あえて着色はしておらず籐や寄木の自然素材の良さが活かされています。全体は素編みされており、上部の縁の始末は一本芯編みで優しい印象の作品です。今まであまり工作や手仕事の経験はなかった方ですが、リハビリで初めての作品制作チャレンジとなり御本人の自信や記念にもなりました。

感想

飾ってあった手作りの一輪差しがとても素敵で、私も作ってみたいと思い制作しました。



みかん入れ

昌美

説明

籐の色を活かした籠です。籠の大きさは直径23cm、高さ7cmで、仕上げのスカラップ編みを含めると高さは14cmです。仕上げに工作用のニスを1度塗って、光沢を出しています。縦芯は2本芯を9本で少な目にし、横芯はざっくりと編んでいきました。後始末を行うためのスカラップ編みもそれぞれに1本芯を追加して、2本芯で行いました。作者は左片麻痺であるため、重石など補助具を使用して右手だけで編みました。

感想

底から芯を立ち上げる工程が難しかったですが、完成させた自分を褒めてあげたいです。